

くらしの危険 Number 389

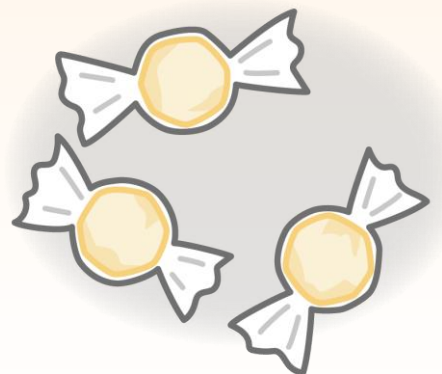
球形のチーズによる 子どもの窒息に注意！



2024年11月、PIO-NETに1歳児が球形のチーズを食べて窒息し、死亡したという情報が寄せられました。当該品は、直径およそ2 cmの球形のチーズで、フィルムで包み両端がねじられたかたちで個装されているものでした。

その他、あめ、パン類、豆類などの食品も、窒息につながりやすい食品とされ、死亡事故も発生しています。

子どもが不用意に口にしようとするものは手の届く範囲に置かないことが大切ですが、子どもは大人が目を離した間に思いがけないものを口に入れることがあり、大人の目の届かないところで事故が発生してしまう可能性も考えられます。



独立行政法人
国民生活センター

National Consumer Affairs Center of Japan

こんな事故が起きています

【事例 1】

夕食時に 1 歳の子どもにキャンディータイプのチーズを与えた。子どもが苦しんでいる様子に気づき、すぐに吐き出させようとしたが出てこなかった。救急車で搬送された病院に入院していたが 12 日後に亡くなった。

(事故発生年月:2024 年 8 月、1 歳、男児)

【事例 2】

1 歳の子どもがキャンディータイプのチーズをのどに詰まらせた。突然えづいたようになり、背中を叩いたが吐き出さず、苦しがつてきたので、子どもを逆さにして振ったり、背中を強く叩いたりしたが、チアノーゼになった。保護者が子どもの口の中のチーズを手前に掻き出したところ、声を出せるようになり回復した。

(事故発生年月:2017 年 11 月、1 歳、男児)

【事例 3】

子どもに 1 人で球形のチーズを食べさせていたところ、急にむせ始めた。泣き声は出ていたがかすれ声で、顔色も悪くなっていたため救急車を要請した。保護者が背後から腹部突き上げ法を行ったが何も出てこず、口の中に指を入れて掻き出したところ、ドロドロのチーズの小片がいくつか出てきて、顔色も良くなった。

(事故発生年月:2024 年 3 月、1 歳 10 カ月、女児)

窒息につながりやすい食品

丸くてつるつとしていもの

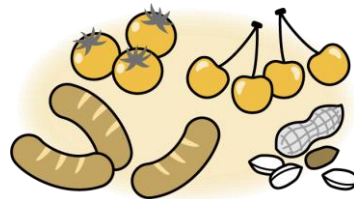
ブドウ、ミニトマト、さくらんぼ、ピーナッツ、球形の個装チーズ、うずらの卵、ソーセージ、こんにゃく、白玉団子、あめ、ラムネなど

粘着性が高く唾液を吸収して飲み込みづらいもの

餅、ごはん、パン類など

固くて噛み切りにくいもの

リンゴ、生のにんじん、水菜、イカなど



窒息したと思ったら

子どもが次のような行動をしていたり、症状が出ていたりする場合は**窒息しているかもしれません**

のどを押さえる

声を出せない

顔色が急に青白くなる

呼吸が苦しそう

口に指を入れる

**直ちに
119番**

併せて背部叩打法等や腹部突き上げ法による異物除去を試みましょう

消費者へのアドバイス

- ✓ 球形の個装チーズなど窒息を起こしやすい食品は、無理なく食べられるよう小さく切ったりつぶしたり、加熱して形状を変えて与え、飲み込むのを確認しましょう。
- ✓ 丸くてつるつとしていものや粘着性の高いものなど、窒息を起こしやすい食品の特性を知り、注意しましょう。
- ✓ 球形の個装チーズのほかに、飴やパン類、豆類、せんべいなどでも事故が起きています。
- ✓ 窒息したと思ったら、直ちに救急要請、背部叩打等による異物除去を試みましょう。